



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年10月27日

上場会社名 株式会社 加地テック  
コード番号 6391 URL <https://www.kajitech.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 克憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 塩口 修治

TEL 072- 361- 0881

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,622	5.6	72		82		58	71.2
2023年3月期第2四半期	2,483	15.9	45		35		34	74.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	35.62	
2023年3月期第2四半期	20.80	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,032	6,786	61.5
2023年3月期	10,990	6,795	61.8

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 6,786百万円 2023年3月期 6,795百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				40.00	40.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	20.5	570	140.3	600	102.0	420	45.6	253.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	1,718,000 株	2023年3月期	1,718,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	63,445 株	2023年3月期	63,265 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	1,654,645 株	2023年3月期2Q	1,654,833 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、供給制約の緩和や原材料高の一服、円安の進行による輸出採算の改善などを受けて、大企業製造業の景況感には改善が見られました。非製造業においても経済活動正常化に伴うサービス需要の増加やインバウンド需要の回復から景況感は回復してきており、全体として緩やかな回復基調にあると言えます。

日銀短観（2023年9月調査）によれば、今年度の設備投資計画は前年比13.0%増と上方修正されており引き続き堅調を維持しています。一方で先行きの景況感については製造業が小幅な上昇、非製造業が明確な下落を示しており、総じて先行きに対する慎重な姿勢が伺われます。

このような状況下、当第2四半期累計期間における当社業績は、大口のプラント向け圧縮機の販売により売上高は前年同期比5.6%増の2,622百万円となりました。売上高の増加に加え、不採算案件が減少したことにより、売上総利益は前年同期比37.4%増の666百万円となりました。一方で、人員増強による人件費の増加やカーボンニュートラル関連の研究開発推進による研究開発費の増加によって、販売費及び一般管理費は前年同期比12.0%増の594百万円となりました。以上の結果、営業利益は72百万円(前年同期は営業損失45百万円)、経常利益は82百万円(前年同期は経常損失35百万円)、四半期純利益は前年同期比71.2%増の58百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期会計期間の総資産は、11,032百万円で前事業年度に比べ41百万円増加しました。この主な要因は、電子記録債権の減少238百万円、売掛金及び契約資産の減少329百万円及び有形固定資産の減少86百万円があったものの、現金及び預金の増加171百万円及び仕掛品の増加541百万円があったことによります。

当第2四半期会計期間の負債は、4,245百万円で前事業年度に比べ50百万円増加しました。この主な要因は、未払法人税等の減少60百万円、受注損失引当金の減少29百万円及び流動負債その他の減少172百万円があったものの、買掛金の増加146百万円及び契約負債の増加184百万円があったことによります。

当第2四半期会計期間の純資産は、6,786百万円で前事業年度に比べ8百万円減少しました。この主な要因は、剰余金の配当66百万円及び四半期純利益の計上58百万円により、利益剰余金が7百万円減少したことによります。

以上の結果、自己資本比率は61.5%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は1,142百万円で、前事業年度末に比べ171百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は308百万円であります(前年同期は232百万円の増加)。この増加は主に、棚卸資産の増加額564百万円があったものの、減価償却費127百万円、売上債権の減少額615百万円及び仕入債務の増加額148百万円があったことによります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は43百万円であります(前年同期は543百万円の減少)。この減少は主に、有形固定資産の取得による支出27百万円及び無形固定資産の取得による支出19百万円があったことによります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は93百万円であります(前年同期は432百万円の増加)。この減少は主に、長期借入金の返済による支出26百万円及び配当金の支払額65百万円があったことによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績見通しにつきましては、2023年4月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。業績を見直す必要が生じた場合は適時に開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	971,513	1,142,688
受取手形	71,990	24,089
電子記録債権	851,943	613,383
売掛金及び契約資産	1,741,755	1,412,261
製品	5,680	2,100
仕掛品	1,838,622	2,380,175
原材料及び貯蔵品	354,649	381,015
預け金	1,100,000	1,100,000
その他	90,539	91,865
貸倒引当金	△21,400	△16,500
流動資産合計	7,005,295	7,131,079
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,496,054	2,450,171
その他（純額）	990,656	950,514
有形固定資産合計	3,486,710	3,400,686
無形固定資産	125,509	128,143
投資その他の資産	373,203	372,243
固定資産合計	3,985,423	3,901,073
資産合計	10,990,718	11,032,152
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	132,431	124,199
電子記録債務	719,977	727,441
買掛金	256,420	402,988
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	65,770	78,924
未払法人税等	105,090	44,350
契約負債	253,688	438,090
賞与引当金	143,573	145,797
受注損失引当金	122,100	92,400
その他	387,208	214,644
流動負債合計	2,196,259	2,278,836
固定負債		
長期借入金	1,434,230	1,394,768
退職給付引当金	548,927	557,422
その他	16,170	14,860
固定負債合計	1,999,327	1,967,051
負債合計	4,195,587	4,245,888

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,440,000	1,440,000
資本剰余金	1,203,008	1,203,008
利益剰余金	4,262,921	4,255,665
自己株式	△110,744	△111,595
株主資本合計	6,795,186	6,787,078
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△55	△814
評価・換算差額等合計	△55	△814
純資産合計	6,795,130	6,786,264
負債純資産合計	10,990,718	11,032,152

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,483,005	2,622,157
売上原価	1,998,092	1,955,672
売上総利益	484,912	666,484
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	137,116	171,336
賞与引当金繰入額	34,054	33,968
貸倒引当金繰入額	△800	△4,900
その他	359,921	393,762
販売費及び一般管理費合計	530,291	594,167
営業利益又は営業損失(△)	△45,379	72,317
営業外収益		
受取利息	1,688	1,509
損害賠償収入	13,659	8,000
その他	2,248	2,303
営業外収益合計	17,597	11,812
営業外費用		
支払利息	1,471	1,805
固定資産除却損	6,547	—
その他	0	7
営業外費用合計	8,019	1,812
経常利益又は経常損失(△)	△35,801	82,317
特別利益		
補助金収入	102,400	2,600
特別利益合計	102,400	2,600
特別損失		
工場再編費用	19,313	—
特別損失合計	19,313	—
税引前四半期純利益	47,285	84,917
法人税等	12,870	25,985
四半期純利益	34,415	58,932

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	47,285	84,917
減価償却費	124,414	127,047
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,651	8,495
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△800	△4,900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,189	2,224
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	105,800	△29,700
受取利息	△1,688	△1,509
補助金収入	△102,400	△2,600
支払利息	1,471	1,805
固定資産除却損	187	—
売上債権の増減額 (△は増加)	103,697	615,955
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,884	△564,338
未収還付消費税等の増減額 (△は増加)	211,372	—
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△30,658	△1,326
仕入債務の増減額 (△は減少)	△178,850	148,240
その他	△13,519	11,083
小計	244,888	395,395
利息の受取額	1,688	1,509
利息の支払額	△1,471	△1,805
法人税等の支払額	△12,145	△86,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	232,960	308,225
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△527,378	△27,844
無形固定資産の取得による支出	△18,512	△19,000
補助金の受取額	102,400	2,600
預け金の増減額 (△は増加)	△100,000	—
その他	24	784
投資活動によるキャッシュ・フロー	△543,466	△43,459
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△1,000,000	—
長期借入れによる収入	1,500,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△26,308
リース債務の返済による支出	△1,310	△1,310
自己株式の取得による支出	△113	△850
配当金の支払額	△65,729	△65,122
財務活動によるキャッシュ・フロー	432,846	△93,590
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	122,340	171,174
現金及び現金同等物の期首残高	771,230	971,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	893,570	1,142,688

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(補助金収入)

当第2四半期累計期間において、当社は本社総合組立工場の新設に伴い、補助金の交付額2,600千円を補助金収入として特別利益に計上しております。